

- 生化学会北陸支部第15回例会, 1997, 5, 金沢.
- 2) 中川育也, 鎗木淳平, 菅野延彦, 日比野康英, 大橋康宏: 霊芝(マンネンタケ)菌糸体培養基より得られる多糖蛋白質画分の免疫賦活性: マウス免疫細胞のIFN- γ とNO産生の増強. 日本薬学会北陸支部第96回例会, 1997, 6, 金沢.
 - 3) Y. Hibino, H. Ohzeki, N. Hirose, and N. Sugano: INVOLVEMENT OF PHOSPHORYLATION IN BINDING OF NUCLEAR SCAFFOLD PROTEINS FROM RAT LIVER TO A HIGHLY REPETITIVE DNA COMPONENT. 17th International Congress of Biochemistry and Molecular Biology, 1997, 8, San Francisco.
 - 4) 大関洋光, 日比野康英, 広瀬紀子, 菅野延彦: 高度反復配列DNAの転写活性化能について. 第70回日本生化学会大会, 1997, 9, 金沢.
 - 5) 日比野康英, 平岡良隆, 菅野延彦: シスプラチン耐性細胞のDNA修復活性. 第70回日本生化学会大会, 1997, 9, 金沢.
 - 6) 菅野延彦, 鎗木淳平, 中川育也, 日比野康英, 大橋康宏: 椎茸菌糸体培養基より得られる多糖蛋白質画分(LAP1)の非特異的・特異的細胞傷害活性の増強. 第56回日本癌学会総会, 1997, 10, 京都.
 - 7) 日比野康英, 広瀬紀子, 大関洋光, 森田泰弘, 菅野延彦: DNA結合活性を示す細胞核 Scaffold蛋白質の諸性質. 日本薬学会北陸支部第97回例会, 1997, 11, 富山.
 - 8) 中川育也, 日比野康英, 大橋康宏, 菅野延彦: マンネンタケ(霊芝)菌糸体培養基より得られる多糖蛋白質画分(MTP2)の免疫賦活性: サイトカインとNOの産生誘導. 第10回日本BRM学会学術集会総会, 1997, 12, 広島.

統計・情報科学

教授 折笠秀樹

◆ 著 書

- 1) 大橋靖雄, 折笠秀樹: 「Meta-analysis, 考え方と実際(ビデオ)」. 協和醗酵工業, 東京, 1997.
- 2) 折笠秀樹: EBMによる糖尿病のケア—臨床試験とメタアナリシスの利用. 「Evidence-Based Medicineをめざす糖尿病治療」阿部隆三, 春日雅人編, 216 - 230, 南江堂, 東京, 1997.

- 3) 大橋靖雄, 折笠秀樹: 「メタアナリシスを理解するための統計用語解説」. 協和醗酵工業, 東京, 1997.
- 4) 折笠秀樹: 心不全治療薬の臨床評価. 「心不全治療」矢崎義雄監修, 627 - 636, メディカルレビュー社, 東京, 1997.

◆ 原 著

- 1) Owa M, Origasa H, Saito M: Predictive validity of the Braunwald classification of unstable angina for angiographic findings, short-term prognoses, and treatment selection. *Angiology*, 48: 663-671, 1997.
- 2) Origasa H: Cumulating the scientific evidences in cardiology with a special reference to Japanese contribution. *Heart and Vessels*, 41 (suppl.12): 142-147, 1997.
- 3) 篠原幸人, 折笠秀樹: メタアナリシスを用いた脳循環代謝改善薬臨床効果の再検討. *脳卒中*, 19 (4): 308-317, 1997.
- 4) 山本祐香理, 折笠秀樹, 佐藤均, 井上博, 林隆一: 降圧薬の処方パターンと合併疾患の関係—院内データを用いた薬剤使用調査. *薬剤疫学*, 2(2): 83-89, 1997.
- 5) 三輪剛, 三好秋馬, 竹本忠良, 松尾裕, 浅木茂, 中村孝司, 森治樹, 岩崎有良, 原澤茂, 中澤三郎, 小林旬三, 勝健一, 早川晃, 佐藤慎吉, 折笠秀樹, 中島光好: Z-103の胃炎に対する臨床評価—スクラルファートを対照薬とした二重盲検比較試験. *薬理と治療*, 25: 1195-1236, 1997.
- 6) 太田和夫, 佐中孜, 平沢由平, 中川雅夫, 中川成之輔, 秋澤忠男, 折笠秀樹: 血液透析時対外循環における低分子ヘパリンKM-311(一般名: レベパリンナトリウム)の抗凝血薬としての臨床的検討—多施設共同第II相臨床試験. *臨床医薬*, 13: 1941-1959, 1997.
- 7) 太田和夫, 佐中孜, 平沢由平, 中川雅夫, 中川成之輔, 秋澤忠男, 折笠秀樹: 出血性病変ないし出血傾向を有する患者の血液透析時対外循環における低分子ヘパリンKM-311(一般名: レベパリンナトリウム)の抗凝血薬としての臨床的検討—多施設共同第II相臨床試験. *臨床医薬*, 13: 1961-1976, 1997.
- 8) 太田和夫, 佐中孜, 平沢由平, 中川雅夫, 秋澤忠男, 折笠秀樹: 慢性腎不全患者の血液透析時対外循環における抗凝血薬KM-311(一般名: レベパリンナトリウム)の臨床評価—未分画ヘパリンを対照薬とした二重盲検交差比較試験. *臨床医薬*,

13: 2589 - 2618, 1997.

- 9) 太田和夫, 佐中孜, 平沢由平, 中川雅夫, 秋澤忠男, 折笠秀樹: 出血性病変を有する透析患者の血液透析時対外循環における低分子ヘパリンKM-311 (一般名: レベパリンナトリウム) の臨床評価—ダルテパリンナトリウムを対照薬とした二重盲検並行群間比較試験. 臨床医薬, 13: 2619-2645, 1997.
- 10) 水口弘司, 藤本征一郎, 佐藤和雄, 武谷雄二, 麻生武志, 岡田弘二, 本庄英雄, 大濱紘三, 青野敏博, 永田行博, 折笠秀樹: RG93933 (E2パッチ) 第III相臨床試験. 臨床医薬, 13: 4513-4528, 1997.

◆ 総 説

- 1) 山本和利, 大橋靖雄, 折笠秀樹: 臨床医学の New paradigm. Diabetes Frontier, 8: 75-79, 1997.
- 2) 山本和利, 大橋靖雄, 折笠秀樹: 糖尿病と臨床疫学—診断. Diabetes Frontier, 8: 223-229, 1997.
- 3) 山本和利, 大橋靖雄, 折笠秀樹: 糖尿病と臨床疫学—治療. Diabetes Frontier, 8: 359-363, 1997.
- 4) 山本和利, 大橋靖雄, 折笠秀樹: 糖尿病と臨床疫学—予後, 副作用の評価. Diabetes Frontier, 8: 487-492, 1997.
- 5) 山本和利, 大橋靖雄, 折笠秀樹: 糖尿病と臨床疫学—メタアナリシスの評価. Diabetes Frontier, 8: 613-619, 1997.
- 6) 山本和利, 大橋靖雄, 折笠秀樹: 糖尿病と臨床疫学—費用効果分析. Diabetes Frontier, 8: 725-732, 1997.
- 7) 折笠秀樹: 糖尿病臨床研究におけるQOL評価. 日本臨床, 55 (増刊号, No. 725), 706-710, 1997.

◆ 学会報告

- 1) Origasa H: Cumulating the scientific evidences in cardiology with a special reference to Japanese contribution. 第61回日本循環器学会総会 (International Session Chair and Keynote Speaker), 1997, 3, 東京. [Japanese Circulation Journal. 1997; 61, Supplement I, p.44.]
- 2) Origasa H: Is the evidence-based intensive care necessary? (Panel Discussion III: 経験と類推と直感が頼りの集中治療—科学的根拠の得がたい行為を整理してみよう, 武澤純座長). 第24回日本集中治療医学会総会, 1997, 5, 盛岡.
- [日本集中治療医学会雑誌. 1997; 4, Supplement, S97-S98.]
- 3) 渥美義仁, on behalf of the SCCT Investigators: NIDDMにおけるSMBGの役割—SCCTの報告を中心に. 第40回日本糖尿病学会年次学術集会, 1997, 5, 東京. [折笠はSCCT研究班メンバーの一人]
- 4) Atsumi Y, Kadowaki T, Origasa H, and the SCCT Study Group: Self-monitoring blood glucose improves quality of life in NIDDM patients treated with diet alone or oral hypoglycemic agents. The 57th Annual Meeting of the American Diabetes Association, 1997, 6, Boston. [Diabetes. 46 (suppl. 1): 267A, 1997.]
- 5) Origasa H: Influence of small sizes within each center upon estimating the drug effect in clinical trials. The 51th Conference of International Statistical Institute, 1997, 8, Istanbul.
- 6) 折笠秀樹: 虚血性心疾患における治療法選択—大規模臨床試験とメタアナリシスの利用. 第45回日本心臓病学会学術集会, 1997, 9, 札幌.
- 7) 折笠秀樹: 臨床試験における中間評価の必要性. 第5回計量生物セミナー (日本計量生物学会主催), 1997, 10, 静岡.
- 8) Origasa H, Atsumi Y, Kadowaki T, for the SCCT Study Group: Quality of life assessment for the use of SMBG in diabetic patients. International Symposium: Health-related QOL and Health Care Assessment (p.23, Program and Abstracts), 1997, 10, Tokyo.
- 9) 折笠秀樹: 肝動注が延命効果を有すると解析した「メタアナリシス」とは何か? 第59回臨床外科医学会総会, 1997, 11, 大阪.
- 10) 折笠秀樹: 基礎研究を踏まえた臨床研究の必要性 (「医療技術開発と医療機器の承認」シンポジウム). 第11回日本ME学会秋季大会, 1997, 11, 横浜.
- 11) 古謝由紀子, 折笠秀樹: フェノテロール吸入剤の安全性について—過去のエビデンスにもとづく総合評価の試み. 第18回日本臨床薬理学会, 1997, 12, 東京.
- 12) 多田春江, 折笠秀樹: 脳卒中患者にたいしてQOLを評価した論文のクリティカル・アプレイザル. 第18回日本臨床薬理学会, 1997, 12, 東京.

- 13) 折笠秀樹：プラシーボ対照試験と実薬対照試験の間で 脳循環代謝改善薬の有効率比較. 第18回日本臨床薬理学会, 1997.12, 東京.

◆ その他

- 1) 折笠秀樹：「医学・生物学データの統計モデル」に関する研究報告 (pp. 18-19), 研究報告書 (p. 257-290). 文部省基盤研究 (A)「実験データ科学の数理的基礎とその応用」研究成果報告書. 1997, 3, 東京.
- 2) 折笠秀樹：医学統計学とEBM. 第7回北摂呼吸器疾患懇話会, 1997, 7, 高槻：大阪.
- 3) 折笠秀樹：脳循環代謝改善剤とグルコシダーゼ阻害剤. 第1回医薬ビジランスセミナー, 1997, 9, 大阪.

英

語

教 授 藤 本 正 文
助 教 授 浜 西 和 子
助 教 授 松 倉 茂
外国人教師 ロレイン・H・サッカ

◆ 研究概要

- (藤本) 英米文学, 批評理論
(浜西) 英文学, 仏文学
(松倉) 意味論 (語用論を含む)
(サッカ) Teaching of English to Speakers of Other Languages.

独

語

講 師 名 執 基 樹

◆ 研究概要

文学システムの経験的研究

◆ 原 著

- 1) 名執基樹：作家の経験的研究に向けてーシステム研究としての作家研究の提案ー. 富山医科薬科大学一般教育研究紀要 19 : 29-44, 1997.

保 健 体 育

教 授 小野寺 孝 一

◆ 研究概要

生活習慣病, 主として高脂血症, 高血糖症を中心に運動, 食事による改善方法について調査している。

◆ 著 書

- 1) 小野寺孝一：II章, 運動と健康づくり. 富山県生涯スポーツ指導員養成講習会テキスト (改定版), 富山県教育委員会, 11-13, 1997.

◆ 学会報告

- 1) 三辺忠雄, 加藤則子, 西村文子, 中瀬真一, 吉崎亨, 小野寺孝一：最大酸素摂取量と検査異常値出現率について. 第19回日本健康増進学会, 1997, 10, 仙台.

◆ その他

- 1) 小野寺孝一, Mehander SINGH: Influence of Fasting in Malaysia on Body Composition. 富山医科薬科大学一般教育研究紀要, 第19号, 67-70, 1997.
- 2) 小野寺孝一, 加藤則子, 滝上節子, 三辺忠雄, 最上智行, 村井貞子, 中瀬真一, 吉崎亨：健康診断受診者の追跡調査からみた生活指導の効果. 富山医科薬科大学一般教育研究紀要, 第19号, 71-84, 1997.
- 3) 小野寺孝一, 姫野淳子, 蔵堀小百合, 三辺忠雄, 加藤則子, 西村文子, 中瀬真一, 吉崎亨：高血糖, 高脂血症者の追跡調査結果について. 富山医科薬科大学一般教育研究紀要, 第19号, 85-97, 1997.

日 本 語 ・ 日 本 事 情

助 教 授 大 星 光 史

◆ 著 書

- 1) 大星光史：「草庵生活と放浪の詩人」木耳社, 東京, 1997.
- 2) 大星光史：「文学に見る日本の医薬史」雄渾社, 東京, 1997.

- 3) 大星光史：「歌人の風景」恒文社, 東京, 1997.

◆ 原 著

- 1) 大星光史：森鷗外の私生活と作品の世界. 富山医科薬科大学一般教育研究紀要, 1-26, 1997.
- 2) 大星光史：芭蕉の死(上).「游星誌」, 79-86, 1997.